レッスンSPA NO.46

テーマ：14芒星と素質的可能性のサイクルとの関係

SPA46KE8A/1/8

私の姉妹・兄弟たちよ、

スピリット、光、火の子供たち。

私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

前回のレッスンでは現れの世界のなかで人間に与えれれた素質的可能性のサイクルについて話しました。実際、「人間のイデア」に与えられた素質的可能性の大きなサイクルがあり、このサイクルは「神の黙想」の結果です。それによって果たすべき仕事、「神の黙想」による仕事が成し遂げられるためです。なぜなら、この仕事が成されなければ、「神の黙想」は表現されないからです。

ですから、素質的可能性の大きなサイクルがあり、このサイクルのなかに他の小さな素質的可能性のサイクル（＊複数）があります。現在のパーソナリティーに与えられた素質的可能性のサイクルがあります。

さて、覚えているかもしれませんが数年前にいわゆる14芒星について話したことがあります。この14芒星と現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルとの関係は何でしょうか？実際、それは同じです。14芒星とこのサイクル、それは全く同じです。その14芒星のそれぞれの頂点は成長、進化の各ステージ、段階を意味しています。それは勿論、人が現れにおける或る境界、限界を終えていることを意味しますが。しかし、最後のレッスンで、現在のパーソナリティーの部屋のなかには次のような二つのレベルがあると話しました。部屋のなかでは素質的可能性の二つのサイクルがあり、大きな四面ピラミッドの中では、さらに２＋１のサイクルがあります。

さて繰り返しますが、14芒星とこれらのサイクルとの関係とは何でしょうか？総体としてはそれらのサイクルは一つであり、同じなのですが、それらのサイクルをまとめる仕方があるのでしょうか？この14芒星のどれだけの頂点、ポイントが部屋のなかにあり、大きな四面ピラミッドのなかにはどれだけあるのでしょうか？そのように考えることが可能でしょうか？

実際、そうではありません。部屋の中にこれだけの頂点、ポイントがあり、大きな四面ピラミッドの中にこれだけの頂点がある、などと言うことはできません。

それではどうなっているのでしょうか？それはパーソナリティーによります。繰り返しますが、総体としてはそれは一つであり、同じです。誰かが現在のパーソナリティーの自己実現に到達するということ、それは14芒星によって与えられた進化・成長の全ての段階、ステージを経てきたことを意味します。そしてまた、人は進化の全てのステージ、段階を経なければならず、それらの段階においてあなたは現われの或る限界、境界から自分自身を解放します。部屋の中および大きな四面ピラミッドにおけるこれらのステージ、段階は前に述べたように五つあります。

部屋のなかには本能的意識のセルフ・エピグノシスと潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスの二つのサイクルがあり、大きな四面ピラミッドのなかには意識的意識のセルフ・エピグノシスがあり、そして超意識的意識のセルフ・エピグノシス、そして五つ目は？それは何であれ実際努力なしに加えられます。なぜなら、人がこの素質的可能性のサイクルを完了させると、自動的にその人はマインドの他のバイブレーションのなかに入るからです。人はマインドのバイブレーションの他のレベルを使うようになり、それらのマインドのバイブレーションは実際に形がありません。彼らは現れのために形を必要としないのです。人は無定形の体（＊単数）を持ち、自分自身を表現するのに五つの超感覚を使う代わりに今や同調を使います。しかし、このサイクルは半径のない円であり、実際それは点なのです；なぜなら、それは時間の意味を超えており；このサイクルと呼ばれるものを完了したパーソナリティーは経験を経るということを全く必要としません。ですから、現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルは実際、４＋１で５つなのです。

Page2

さて、前に現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルは14芒星のなかでは一つであると述べましたが、実際二つを比べることはできません。あるポイントにおいて、あなたが現れの特定のステージのレベルに到達するとき、その時にはこれら二つを比べることができますが、今はできません。前回のレッスンで述べたように、パーソナリティーは今は素質的可能性の二番目のサイクルのなかでたくさんワークをする必要があります。 あなたがここに来ているということは、最初のサイクルを終えたということであり、さもなければあなたはここにはいません。

ですから、あなた方は素質的可能性の二番目のサイクルにいます。このサイクルのどのレベルにいるかは誰もあなたに告げないでしょう。本当の真摯な神秘家ならあなたにそれを告げることはしないでしょう。いずれにしてもそれは重要なことではありません。あなたがここにいるなら、あなたはこのサイクルの始まりにいるわけではありません。素質的可能性の二番目のサイクルの中ですでに多くの転生を重ねてきています。今すべき努力とはより高く昇ることであり、あなたがこのサイクルを完了するときには、自動的に次のサイクルに入ることでしょう。それは勿論、大きな四面ピラミッドの中です。

さて、現在のパーソナリティーの部屋に戻りましょう。この部屋は完全にもやのかかった、完全に霧のような状態であると言いました。そしてこの霧のかかった状態は水色をしています。しかしこの水色を前に述べたよりクリヤーで輝いている水色と間違えないでください。これは霧のかかったもや状の輝きですが、だからといってそれがパーソナリティーにとって不快なのではありません。それどころか、それは現在のパーソナリティーを活気づけ、生き生きとさせます。活気づけるといいましたが、それは現在のパーソナリティーをエネルギッシュにさせるようなフィーリングです。しかし、前のレッスンで水のエレメントであると言いました。なぜなら、この霧のかかったもや状の輝き、それは水のエレメント以外の何ものでもありません。水のエレメントは肉体を活性化し、サイコノエティカル体と物質、肉体を結びつけます。

ですから、部屋のなかではもやがかかったような状態なのではっきりと見ることはできませんが、あなたはとても快適に感じます。あなたがすべき努力は、この部屋のなかで生じていることを理解することです；まずあなたが一人ではないことを理解するのです。これを達成するためには、勿論あなたは五つの超感覚をいくらかエネルギッシュにします。なぜなら、五感ではなくて五つの超感覚という手段を使用して、水のエレメントを通して見るからです。

ですから、あなたが今いる部屋についてもっと理解できるように努力する必要があります。あなたは実際、部屋を築きました。その部屋をどのようにして築きましたか？思考を使ってです。勿論、創造的思考ではなく、ただの思考を使って築きました。あなたはエーテルの三つの特質を使っています…運動エーテル、感覚エーテル、そして刻印エーテルであり、今のところ創造エーテルは使いません。しかし、思考の結果として非常に多くのエレメンタルを創造するのと同じように、その結果として何かを創造します。

さて、あなたは自分の部屋を創造します。なぜでしょうか？自分が今どのステートにいるか、自分には現れのどのような制限、限界があるか、を理解、認識するためです。同じように、あなたは他の建物をも創造します、それらはすでに築いているはずですが、様々なピラミッドです；部屋の中の小さな四面ピラミッド、三面、五面ピラミッド、そして円錐のピラミッドです。ですから部屋には四面ピラミッドがあり、勿論四面ピラミッドのなかには三面ピラミッド、五面ピラミッドそして円錐があります。それが三面あるいは五面の上にあるか、それは全く同じことです。

さて、それらのピラミッドをどのように築きますか？それは前に述べたのと全く同じで、シンプルな思考を使います；あなたがその建造を願います。その築き方についてはすでに教えられています。それらのピラミッドをあなた方各人がどのように築くかは全く別問題です。あなた方の中の誰かは「自分は四面ピラミッドその他を築きたいのに、それらが見えない」と言うかもしれません。どうしたんでしょうか？そうです、あなたは何かを築いたのです。その何かがそうあるべき状態になっているか否かは別問題です。しかし、あなたが築いたものを見て、それを体験し、その建造物から何か現実的、確実な体験ができるように努力することが必要です。

Page3

さて、自分が築いた建造物が見えなくても、実際それはそこにあります；それは理想的なものとして完全なステートでそこにあります。言い換えれば、そうあるべき姿で。それでは、何故そうなのでしょうか？そしてそれは存在するただ一つのものでしょうか？答えはノーです、一つだけではありません。実際には二つあります、あなたがマインドのバイブレーションと共にまとう理想的なもの。そしてもう一つは、理想にとても近いが、あなたの理解、ピラミッドについてのあなたの理解の仕方によるものです。勿論、あなたの理解レベルの結果として築いたものを理想的なものとマッチするように努力する必要があります。

さて、なぜそうなのでしょうか？なぜなら、素質的可能性のサイクルのなかで何であれ助けとして人間に提供されるものは、アーキタイプ（元型）、イデア、法則、原因の結果だからです。無からは何も生じません。だからこそ、これら全てのシンボルをこの地球の時のなかで、宇宙のなかで見いだすことができるのです；それらのシンボルは素質的可能性の結果として人間に与えられた助けなのです。それらのシンボルは実際、創造の不動の法則とつながっています。過去においても、それらのシンボルのいくつかを使用することによってパワーを引き出すことができました；人々はそれらを使うこと、つまり誤用することによって能力やパワーを現していました。

勿論、あなた方がすべき努力とは、過去に人々がしたのと同じようにそれらのシンボルを使用するのではなく、気づきを上昇させるために使用するのです。何であれ素質的可能性のサイクルがそれらのシンボルの中で提供するものを利用すること、それがあなた方のすべき努力です。そして、素質的可能性のサイクルはパワーや能力を提供しているのではなくて、より高いレベルの気づき、「生それ自体」の特質からのより高い現れを提供しているのです。

さて、部屋のなかの四面ピラミッドについて述べました。この四面ピラミッドは大きな四面ピラミッドと同一でしょうか？勿論サイズは小さいですが；どう思いますか？あるいは、何であれ現在のパーソナリティーが部屋のなかで行おうとするものは地上にある大きな四面ピラミッドにとっても同じでしょうか？

部屋のなかには二つの素質的可能性のサイクルがあり、大きな四面ピラミッドの中には２＋１のサイクルがあります。大きな四面ピラミッドの中のピラミッド（＊複数）は部屋のなかにあるのと同じように働くのでしょうか？答えはノーです。あなた方のなかには全く同じだと考えた人もいるかもしれません。部屋のなかには三面、および五面ピラミッドがあり、それらは全く同じ高さです。大きな四面ピラミッドのなかでも同じようになるのでしょうか？答えはノーです。ですから、今は大きな四面ピラミッドのことは忘れましょう、そして部屋にフォーカスしましょう。

部屋のなかの水色の輝き、霧のかかったもや状の状態について述べました。私たちが小さな四面ピラミッドを築くやいなや、この霧状の状態、ステートはピラミッドのなかには存在しません。あなたがピラミッドのなかで体験するのは、ピラミッドの各サイドからの輝きによるそれぞれ異なった影響です。前に次のように述べました：必要なことは、部屋のなかで自分がどのようなステートにいるかを理解することである、自分が一人ではないことを認識、理解することである、と。

さて、あるレベルに到達する上で確かにあなたは一人ではないということを理解するために、小さな四面ピラミッドのなかで何が生じるのでしょうか？あなたがすべき努力とは、ピラミッドの各サイドを受け持っている四つのアークエンジェルとある程度まで、同調することです。以前のレッスンで述べたように、右側のサイドはミカエルが、後ろ側はガブリエルが、左側はラファエルが、正面はウリエルが司っています。

さて、部屋のなかに戻りますが、そこで体験するのは水色のもや状の霧のような光です。そしてピラミッドの正面に私たちは白の光を体験し、右側では赤い光を、そして後ろでは水色の光を体験しますが、その水色は（＊部屋の水色よりも）ずっと輝いていてクリヤーな水色です。そして左にはウルトラ・バイオレット色の光を体験します。これら四つの輝きであり、それ以外の光はピラミッドの中にはありません。勿論、自分自身の白、そして白色の五芒星の守護はありますが。しかし、それらの白にはフォーカスせず、ピラミッドの各サイドから放射される四つの色の輝きにフォーカスします。

Page4

さて、これまでのレッスンでは話さなかったことがあります。それらの各サイドからの輝きは生きている必要があります。あなた方はその光のなかの動きを見る必要があります。そしてその動きは各サイドのベース、下の方から始まり、ベースから上の方へと来ます。ベース、底辺から上方への動きがあります。

さて、今のところ、どこにフォーカスすべきでしょうか？ベースにごく近い所にフォーカスし、目の前（の高さには）にはフォーカスしません。なぜなら、今のところ、その光はどのサイドでも、底辺、ベースのあたりで最も輝いているからです。そして徐々に上方へと昇る努力をすべきです。しかし、今のところは光は底辺、ベースに近いところで一番輝き、上にいくにつれてその輝きは鈍くなります。その理由は、今の所あなた方はそれらのバイブレーションに同調できないからです。

三面ピラミッドはどうでしょうか？前のレッスンで、三面ピラミッドの全サイドの色は白だと言いました。しかし、実際にはそうではありません。なぜなら、三面ピラミッドは勿論その頂点の故に、素質的可能性のサイクルを示しており、それは部屋のなかにいる人間に与えられたものです；部屋のなか？人が立っているそのレベルから見れば、それは素質的可能性の二番目のサイクルです。あなた方は一番目のサイクルを完了し背後にしており、これは二番目のサイクルです。

さて、前のレッスンで述べたように、それは生の三つの特質を示しています…絶対英知・絶対善・絶対パワーです。しかし、勿論、この小さな三面ピラミッドは人間にそれら生の特質を完全に現す可能性は与えていません。ある程度までです。今、現在のパーソナリティーのための三つの異なった色があります。

それはどのような色でしょうか、どのような色の輝き、光でしょうか？水色の光、ホワイトピンクの光、金色の三つの色の体について、以前話しました。そのようになっています。なぜなら現在のパーソナリティーは部屋のなかにいる間、三つの体を有しているからです。それゆえに、この三面ピラミッドもまた三つの色の光があるべきなのです。

さて、前に述べたように、角、頂点の一つは正面、私達の前にあります。五芒星のなかに立ち、四面ピラミッドのなかにいると、四面ピラミッドの一つのサイドが正面に来ます。さて、四面ピラミッドのなかに三面ピラミッドを築くと、正面に一つの角が来ます。それでは三面ピラミッドの後ろのサイドはどの色で、右側のサイド、左側のサイドはどの色なのでしょうか？

後ろのサイドは部屋のサイドの一つ、および四面ピラミッドの一つのサイドと平行です。それはそれらのサイドと平行になる唯一のサイドであり、金色です。私たちはこのサイドからは多くを現していません。ほんの僅かを現わしているだけです。そして右側はホワイトピンクであり、左側は水色です。

ですから、後ろのサイドは何であれ正しい思考として提供されるものです。右側については、覚えているかもしれませんが何年も前に話しましたが、ハートのセンターは聖霊およびロゴス、両方のセンターであり、頭のセンターは純粋にロゴスのセンターであり、太陽神経叢のセンターは完全に聖霊のセンターです。ですから右側のサイドはサイキカル体をも意味しますが同時にロゴス的です。それ故に、人はこの現れのステートにいる間は欲望的思考のエレメンタルを創造するのです。なぜなら、それら二つのバランスをもたらすステートは今の所は背後にあるからです；そしてまた左側は純粋に聖霊的ステートとなります。勿論、全体として人はこの小さな三面ピラミッドのなかにいますが、このピラミッドのなかで行うべき努力とは、五面ピラミッドをマスターすることでもあります。

さて、五面ピラミッドのサイドについてはどうでしょうか？それらは五つの超感覚を意味します。さて五感ですが、五感とはなんでしょうか？本当のところ、それは五つの超感覚によって創造された影、シャドーです。それは影であり、それ以外の何ものでもありません。なぜ、影なのでしょうか？しかし、現在のパーソナリティーですら実際には影なのです。「生」の影・シャドーがセルフ、自己を現わすための手段として使用しており、それはシャドー、影でありリアリティーではありません。そして各サイドの底辺に極々近いところ、そこが影、シャドーです。

ですから、あなた方が五面ピラミッドにフォーカスするとき、実際には各サイドの底辺にごく近い部分にフォーカスしているのです。色についてはどうでしょうか？色は様々ですが、今晩はそれについては触れません。今晩お話したように、部屋のなかで、四面ピラミッドのなかでエクササイズをする必要があります。その後で続けましょう。今は三面ピラミッドのなかで様々な色を使ったエクササイズはしません。

Page5

ですから、あなたがたはできる限り意識的にこれらの建造物を築くようトライする必要があります。これらの建造物から触知できるような、リアルな体験をする必要があります；さもないと、もしそれがあなたにとってリアルでない場合、前に進むのが非常に難しくなるでしょう。あなた方はエーテルの特質をマスターするよう努力し、何かを視覚化できるようにならねばなりません；さもないと、それは単なるアイディアになってしまうでしょう。

ですから、エーテルの特質をマスターするためにワークをする必要があります；運動、感覚、そして刻印エーテルです。部屋の中であれ、四面ピラミッドの中、三面ピラミッドの中、あるいは五面ピラミッドのなかであれ、そこに立つ時には自分で築いたものを見る必要があります。

そして最後に勿論、一面ピラミッド、つまり円錐を体験します。しかし、あなた方が努力の結果としてリアルな、本当のワークがスタートするようになると、もはや何も築くことはしません。ただマインドの異なったバイブレーションでそれをまとうだけです。なぜなら、あなた方が築くためにこれまで述べてきましたが、実際全ては、あなたがマインド(Mind)のバイブレーションでそれを身に纏うだけで、それはあなたのためにそこに存在するのです。実際はそのようになるのです。あなたが築くようにと話していますが、実際にはあなたがそれらを築くことはしません。マインドの様々なバイブレーションを使ってそれを存在せしめるだけです。初めは二つの道具、二つの小さな三面ピラミッド、二つの小さな五面ピラミッド、その他がありますが。一つは素質的可能性のサイクル内におけるイデア、元型としてのイデアの結果であるもの、そしてもう一つはあたの理解による三面ピラミッドの結果としてあなたが築くものです。勿論、あなたの理解によって築くピラミッドも最終的には理想的なものとなるでしょう。

質問：それでは円周は同じ、三面ピラミッドおよび五面ピラミッドの円周は同じなのですね、ただ…。

Ｋ：三つ全部が同じベース、底面となります。それゆえに以前のレッスンで、このサイズ（高さ）を決めるのはこれ（底面）だと述べたのです。もしこれをあなたが四面ピラミッドのなかに築き、天井に触れるとしたら、それを築くのはとても簡単です。なぜなら、それを作り、そしてそれはそこに入ることになるからです。しかし今、それを築く際、何が高さを決めるのでしょうか？三面ピラミッドの大きさです。なぜなら、三面ピラミッドは以前のレッスンで述べたように、あなたがこのように置こうと、どのように置こうとも、いずれにしても三つのサイド、面は同じです。言い換えれば、どのサイド、面も底面になり得ます。なぜなら、これは「生」の特質を意味しており、実際「生」の特質には制限、限界がありません。ですから、実際、部屋の高さは三面ピラミッドによって決定されます。

質問：他の三角形を回転させて円錐を創造するのですよね？

Ｋ：そうです、三面ピラミッドを回転させる結果です。それゆえにこれができるのです。さて、このピラミッドは今晩のレッスンで、それ全ては素質的可能性のサイクルの結果としてそれら全てがあると話しましたね。なぜなら、それらはイデア、元型、原因の法則としてあるからです。現在のパーソナリティーが行うことは、様々なマインドのバイブレーションと共にそれを身にまとうことです。それによってそれは存在するようになります。それだけです。

一面ピラミッドは「生」の素質的可能性の結果であり、さもなければ「生」はそれ自身を広げ、拡大させる能力を持つことはないでしょう。一面ピラミッドは意識の拡大を意味します。現在のパーソナリティーが素質的可能性の五つ目のサイクルをマスターするレベルに到達するとき初めてそれは完全になることでしょう。言い換えれば、それは現在のパーソナリティーの素質的可能性の大きなサイクルが完了する時、現在のパーソナリティーが現在のパーソナリティーの自己実現に到達する時です。

さて、円錐が回転するとき、サイドからの輝きはあなたの方に向かわずに、サイドからの輝きは外側に向かい、それは意識の拡大を意味します。それが一面ピラミッドが意味することであり、それは意識の拡大です。形の制限、限界のなかには意識はありません。なぜなら、「生」は制限、限界のなかには入れないからです。中に入るのは「生」の影、シャドーです。

**SPA46/エクササイズ　NO.1**

静かに座り、あなたの心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは純白のなかにいて、自分の形の境界を感じています、自分が純白の五芒星の輝きのなかにいるのが見えます…そして今、水色の霧のあるもや状のステートにある部屋のなかにいます…自分が今部屋のなかにいるのを知っています…その霧のようなもやのステートがあなたに触れているのを感じますが…それは気持ちの良い感覚です…あなたはこの部屋のステートを詳細に知るために、この霧のようなステートのなかに入り込もうとします…しかし生憎今のところそれはとても困難です、ほとんど不可能です…今あなたは四つのアークエンジェルたちに助けを求めます、そして自分が今ワークをすることを約束します…右に90度回転します…今、前とは違った方向を向いています、しかしビジョンに関して何の進歩もありません…ビジョンの感覚は何の助けにもなりません…さらに右に90度回転し、今あなたはさらに別の方向を向いていますが、それでも進歩は見られません…それでは左に180度回転します、今あなたは初めにスタートした方向を向いています…それは部屋で初めに向いていた方向ですが、依然として同じです…それでは左に90度回転します、別の方向に面していますがやはり同じです…右に90度回転して再びもとの方向に戻ってきました… あなたは知っています、自分の正面には白の輝きがあるべきであり、右には赤いの輝きが、後ろには水色の輝きが、そして左にはウルトラ・バイオレットの輝きがあるべきだということを…左右と後ろのサイドからは三つの輝きが、前からは一つの輝きです…そして正面、それは以前のレッスンで述べたように、それは鏡であるべきです…現在のパーソナリティーの諸体の外から離れて自分自身を観察する能力を現在のパーソナリティーに与える鏡なのですが、今のところそれは不可能です…生憎、今のところあなたはそれを見、経験することができませんが、それらの輝きの影響に自分自身をオープンにします… たとえあなたがそれを見て体験することができなくても、光はそこにあります…さて今、四面ピラミッドに実体を与えます、そのピラミッドが実体を得た瞬間、あなたはもはや霧のようなもや状のステートに触れていません…この四面ピラミッドの中で今あなたはサイドからの輝きを体験します…目の前には白の輝き、右には赤の輝き、後ろには水色の輝き、左にはウルトラ・バイオレットの輝き、四つの輝きをあなたは今見ることができます…しかし、あなたが正面にフォーカスする時には、そのサイドの底面に極近い部分にフォーカスすべきであり、底面に近い部分の白の輝きは非常に輝いています…そして同じサイドの上方へ行けば行くほどその輝きは鈍くなっていくのがわかります…底面にごく近い部分にフォーカスすべきです…正面を見て、正面のサイドから来る光の動きを見ていると、底辺から頂点へと向かう光の動きが見えます… 今、右に90度回転すると赤い光に面していますが、やはり白のサイドと同じように光が動いています…さらに右に90度回転すると水色の輝きがありますが、そこも同じです…底辺の近くにフォーカスします…それでは左に180度回転すると再び白の輝きがあります…左に90度回転するとウルトラ・バイオレットの輝きですが、これも全く同じです… あなたは底辺の極近くにフォーカスすべきです…これら全てのサイドで見えるものは動きです、なぜなら光、輝きは生きており、それらの輝きのなかには命があるからです…それではそれらの輝き、光にあなた自身を開きます…今、自分は一人ではないというフィーリングがより強く感じられます、自分一人だけではないということにより確かな確信を抱きます…それではあなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

EREVNA SPA46/APR/1/8 SPA46/6END